



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成29年1月25日

上場会社名 日立化成株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4217 URL <http://www.hitachi-chem.co.jp>  
 代表者（役職名） 執行役社長（氏名）丸山 寿  
 問合せ先責任者（役職名） 経営戦略本部 コーポレート コミュニケーションセンタ長（氏名）高松 明彦 (TEL) 03-5533-7144  
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社株主に 帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	400,859	△3.5	40,730	9.3	41,792	7.1	31,621	10.5	31,323	11.6	32,606	62.7
28年3月期第3四半期	415,342	6.9	37,281	117.1	39,029	78.6	28,618	91.7	28,069	89.3	20,040	△39.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	150.42	—
28年3月期第3四半期	134.80	—

(注)「基本的1株当たり四半期利益」は、「親会社株主に帰属する四半期利益」を基に算定しております。

(参考)経常的な事業収益力として、要約四半期連結損益計算書の「営業利益」から「その他の収益」及び「その他の費用」を除いた金額は、平成28年3月期第3四半期が39,014百万円、平成29年3月期第3四半期が40,781百万円であります。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社株主持分	親会社株主 持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	552,426	384,214	377,942	68.4
28年3月期	535,155	362,522	356,207	66.6

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年3月期	—	25.00	—		
29年3月期(予想)				25.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前当期利益		当期利益		親会社株主に帰属する 当期利益		基本的1株 当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	550,000	0.6	53,000	△0.1	54,500	1.5	40,000	2.2	39,500	2.6	189.69

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考)連結損益計算書の「営業利益」から「その他の収益」及び「その他の費用」を除いた金額は、平成28年3月期の通期が49,851百万円、平成29年3月期連結業績予想の通期が54,000百万円であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	208,364,913株	28年3月期	208,364,913株
29年3月期3Q	135,597株	28年3月期	132,735株
29年3月期3Q	208,230,877株	28年3月期3Q	208,234,259株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表 .....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(要約四半期連結損益計算書) .....	P. 6
(要約四半期連結包括利益計算書) .....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P. 10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 11
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 11
(セグメント情報等) .....	P. 11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

2016年4月1日から同年12月31日までの売上収益は、半導体実装分野での堅調な需要を受け、半導体用ダイボンディング材料や銅張積層板の売上が増加したほか、自動車部品の新規案件獲得に加え、産業用電池が売上を伸ばすなど、物量は増加しましたが、為替影響や売価下落等により、4,008億59百万円(前年同期比3.5%減)となりました。一方、営業利益、税引前四半期利益は、物量増のほか、継続的な原価低減や資材費低減等により、それぞれ407億30百万円(前年同期比9.3%増)、417億92百万円(前年同期比7.1%増)と前年同期実績を上回りました。また、親会社株主に帰属する四半期利益は、法人所得税費用の減少等により、313億23百万円(前年同期比11.6%増)と前年同期実績を上回りました。

セグメント別の事業の状況は以下のとおりです(各セグメントの売上収益は、セグメント間内部売上収益消去後の数値を記載)。

## 機能材料セグメント

当セグメントの売上収益は、前年同期実績の1.9%減に当たる2,050億72百万円となりました。

## ①電子材料

半導体用エポキシ封止材は、中国市場向けが増加したものの、為替の影響を受けたことにより、前年同期実績を下回りました。

半導体用ダイボンディング材料は、スマートフォン向けの新規採用やSSD向け等の需要増により、前年同期実績を上回りました。

半導体回路平坦化用研磨材料は、SSD向けの売上が増加したものの、為替の影響を受けたこと等により、前年同期実績を下回りました。

電気絶縁用ワニスは、2016年7月に大日精化工業(株)から同事業を譲り受けたことが売上増に寄与したものの、為替の影響を受けたことにより、前年同期実績並みとなりました。

## ②無機材料

リチウムイオン電池用カーボン負極材は、環境対応自動車向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

カーボン製品は、一部顧客の需要が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

## ③樹脂材料

機能性樹脂は、接着剤とポリエステル樹脂の売上が増加したものの、為替の影響を受けたことにより、前年同期実績を下回りました。

ディスプレイ用回路接続フィルムは、中国市場を中心にスマートフォン向けの売上が増加したものの、為替の影響を受けたこと等により、前年同期実績を下回りました。

タッチパネル周辺材料は、一部顧客の需要が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

粘着フィルムは、配線板用表面保護フィルムの売上が増加したものの、半導体モールド用離型フィルムの売上が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

## ④配線板材料

銅張積層板は、スマートフォン向けやICTインフラ向けの売上が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

感光性フィルムは、一部顧客向けの売上が減少したこと及び為替の影響を受けたことにより、前年同期実績を下回りました。

## 先端部品・システムセグメント

当セグメントの売上収益は、前年同期実績の5.1%減に当たる1,957億87百万円となりました。

## ①自動車部品

樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品は、新規案件の立ち上げがあったものの、為替の影響を受けたこと等により、前年同期実績を下回りました。

## ②蓄電デバイス・システム

車両用電池は、東南アジア向けの売上が増加したものの、国内新車向けの売上が減少したこと等に

より、前年同期実績を下回りました。

産業用電池・システムは、為替の影響を受けたものの、海外向けの無停電電源装置用電池や、国内の通信事業者向け電池の需要が増加したことにより、前年同期実績を上回りました。

キャパシタは、風力・太陽光発電向けの需要が減少したことにより、前年同期実績を下回りました。

### ③電子部品

配線板は、一部顧客向けの売上が減少したこと等により、前年同期実績を下回りました。

### ④その他

診断薬・装置は、アレルギー診断薬の売上が減少したこと等により、前年同期実績を下回りました。

## (2)財政状態に関する説明

### ①資産、負債及び資本の状況

#### イ. 資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末から172億71百万円増加し、5,524億26百万円となりました。

流動資産は、売上収益の増加等により主として売上債権が増加し、前連結会計年度末から130億61百万円増加しました。

非流動資産は、設備投資の実施等により主として有形固定資産が増加し、前連結会計年度末から42億10百万円増加しました。

#### ロ. 負債

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末から44億21百万円減少し、1,682億12百万円となりました。

流動負債は、社債の償還を実施したものの、売上収益の増加等により主として買入債務が増加し、前連結会計年度末から21億19百万円増加しました。

非流動負債は、長期借入金が1年以内に償還期を迎えること等により主として社債及び借入金が減少し、前連結会計年度末から65億40百万円減少しました。

#### ハ. 資本

当第3四半期連結会計期間末の資本合計は、前連結会計年度末から216億92百万円増加し、3,842億14百万円となりました。これは四半期利益を計上したこと等により利益剰余金が増加したことによるものです。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末から134億78百万円減少し、1,065億10百万円となりました。

#### イ. 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が増加したこと等から、前年同期実績と比較して176億54百万円少ない、355億8百万円の収入となりました。

#### ロ. 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加したこと等から、前年同期実績と比較して21億64百万円多い、236億97百万円の支出となりました。

#### ハ. 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の償還による支出が増加したことや15年度中間期に行った増配の結果等から、前年同期実績と比較して91億97百万円多い、246億46百万円の支出となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、原材料価格高騰の影響が見込まれますが、エレクトロニクス関連製品の需要が想定よりも堅調に推移しているほか、イタリア共和国 FIAMM Energy Technology S.p.A. の株式取得（2016年11月28日公表）により同社を連結子会社化すること、また下半期の為替の前提を1米ドル=100円から1米ドル=110円に見直したこと等により、第2四半期決算短信（2016年10月26日公表）に記載した予想値を下記のとおり修正します。

## 〔通期〕

	今回予想(A)	前回予想(B)	増減額(A-B)	増減率
売上収益	5,500億円	5,200億円	300億円	5.8%
営業利益	530億円	500億円	30億円	6.0%
税引前当期利益	545億円	490億円	55億円	11.2%
当期利益	400億円	353億円	47億円	13.3%
親会社株主に帰属する当期利益	395億円	350億円	45億円	12.9%

## 2. 要約四半期連結財務諸表

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

項目	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2016年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び現金同等物	119,988	106,510
売上債権	109,249	128,433
棚卸資産	51,693	55,790
その他の金融資産	16,527	18,757
その他の流動資産	3,200	4,228
流動資産合計	300,657	313,718
非流動資産		
有形固定資産	170,332	172,975
無形資産	13,463	13,910
退職給付に係る資産	6,960	7,551
繰延税金資産	11,566	10,311
持分法で会計処理されている投資	7,665	7,740
その他の金融資産	18,183	19,894
その他の非流動資産	6,329	6,327
非流動資産合計	234,498	238,708
資産合計	535,155	552,426
負債の部		
流動負債		
買入債務	51,926	64,950
社債及び借入金	32,564	22,953
未払費用	24,149	20,371
未払法人所得税	8,144	5,830
引当金	500	—
その他の金融負債	15,128	19,327
その他の流動負債	1,784	2,883
流動負債合計	134,195	136,314
非流動負債		
社債及び借入金	18,144	13,677
退職給付に係る負債	13,906	14,466
引当金	1,158	1,199
その他の金融負債	2,064	140
その他の非流動負債	3,166	2,416
非流動負債合計	38,438	31,898
負債合計	172,633	168,212
資本の部		
資本金	15,454	15,454
資本剰余金	8,004	7,934
自己株式	△223	△230
利益剰余金	317,447	338,214
その他の包括利益累計額	15,525	16,570
親会社株主持分合計	356,207	377,942
非支配持分	6,315	6,272
資本合計	362,522	384,214
負債及び資本合計	535,155	552,426

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
 (要約四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
売上収益	415,342	400,859
売上原価	△303,479	△289,622
売上総利益	111,863	111,237
販売費及び一般管理費	△72,849	△70,456
その他の収益	2,508	4,081
その他の費用	△4,241	△4,132
営業利益	37,281	40,730
金融収益	872	732
金融費用	△1,661	△2,271
持分法による投資損益	2,537	2,601
税引前四半期利益	39,029	41,792
法人所得税費用	△10,411	△10,171
四半期利益	28,618	31,621
四半期利益の帰属		
親会社株主持分	28,069	31,323
非支配持分	549	298
親会社株主に帰属する1株当たり四半期利益(円)		
基本的1株当たり四半期利益	134.80	150.42
希薄化後1株当たり四半期利益	—	—



(要約四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
四半期利益	28,618	31,621
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
FVTOCIの金融資産の公正価値の純変動額	156	1,042
確定給付制度の再測定	△86	—
合計	70	1,042
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△8,668	△439
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の 純変動額	7	155
持分法によるその他の包括利益	13	227
合計	△8,648	△57
その他の包括利益合計	△8,578	985
四半期包括利益	20,040	32,606
四半期包括利益の帰属		
親会社株主持分	20,151	32,224
非支配持分	△111	382

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位:百万円)

項目	親会社株主持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益累計額	
					FVTOCIの 金融資産	確定給付制度の 再測定
期首残高	15,454	10,498	△213	287,498	4,049	8,137
四半期利益				28,069		
その他の包括利益					156	△86
四半期包括利益合計	—	—	—	28,069	156	△86
配当金				△8,954		
自己株式の取得			△9			
自己株式の処分						
企業結合による変動						
非支配持分の取得		△519				
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替				389	△389	
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	△519	△9	△8,565	△389	—
四半期末残高	15,454	9,979	△222	307,002	3,816	8,051

項目	親会社株主持分					
	その他の包括利益累計額			合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体 の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計			
期首残高	22,863	△45	35,004	348,241	9,093	357,334
四半期利益				28,069	549	28,618
その他の包括利益	△7,995	7	△7,918	△7,918	△660	△8,578
四半期包括利益合計	△7,995	7	△7,918	20,151	△111	20,040
配当金				△8,954	△218	△9,172
自己株式の取得				△9		△9
自己株式の処分				—		—
企業結合による変動				—	635	635
非支配持分の取得				△519	△1,694	△2,213
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			△389	—		—
その他の増減				—		—
所有者との取引額等合計	—	—	△389	△9,482	△1,277	△10,759
四半期末残高	14,868	△38	26,697	358,910	7,705	366,615

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位:百万円)

項目	親会社株主持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の包括利益累計額	
					FVTOCIの 金融資産	確定給付制度の 再測定
期首残高	15,454	8,004	△223	317,447	2,690	4,475
四半期利益				31,323		
その他の包括利益					1,042	
四半期包括利益合計	—	—	—	31,323	1,042	—
配当金				△10,412		
自己株式の取得			△7			
自己株式の処分						
企業結合による変動						
非支配持分の取得		△70				
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替				△144	144	
その他の増減						
所有者との取引額等合計	—	△70	△7	△10,556	144	—
四半期末残高	15,454	7,934	△230	338,214	3,876	4,475

項目	親会社株主持分					
	その他の包括利益累計額			合計	非支配持分	資本合計
	在外営業活動体 の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッジ	合計			
期首残高	8,368	△8	15,525	356,207	6,315	362,522
四半期利益				31,323	298	31,621
その他の包括利益	△296	155	901	901	84	985
四半期包括利益合計	△296	155	901	32,224	382	32,606
配当金				△10,412	△102	△10,514
自己株式の取得				△7		△7
自己株式の処分				—		—
企業結合による変動				—		—
非支配持分の取得				△70	△323	△393
その他の包括利益累計額から 利益剰余金への振替			144	—		—
その他の増減				—		—
所有者との取引額等合計	—	—	144	△10,489	△425	△10,914
四半期末残高	8,072	147	16,570	377,942	6,272	384,214

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	28,618	31,621
減価償却費及び償却費	22,305	20,536
法人所得税費用	10,411	10,171
受取利息及び受取配当金	△708	△705
支払利息	1,164	736
持分法による投資損益(△は益)	△2,537	△2,601
売上債権の増減額(△は増加)	△1,297	△18,527
未収入金の増減額(△は増加)	4,707	△1,150
棚卸資産の増減額(△は増加)	2,047	△4,012
買入債務の増減額(△は減少)	1,106	12,244
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△282	△40
その他	△4,571	△1,543
小計	60,963	46,730
利息及び配当金の受取額	3,363	3,368
利息の支払額	△1,181	△725
法人所得税の支払額	△10,995	△13,865
法人所得税の還付額	1,012	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	53,162	35,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△22,013	△23,649
有形固定資産の売却による収入	961	2,250
有価証券等の売却及び償還による収入	364	118
子会社株式の取得による支出	△900	—
有価証券等の取得による支出	△1,029	△1,791
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	677	—
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	—	351
その他	407	△976
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,533	△23,697
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,045	△1,320
長期借入れによる収入	1,829	707
長期借入金の返済による支出	△3,905	△2,837
非支配持分株主からの子会社持分取得による支出	△2,765	△393
社債の償還による支出	—	△10,000
配当金の支払額	△8,954	△10,412
非支配持分株主への配当金の支払額	△218	△102
その他	△391	△289
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,449	△24,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,249	△643
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,931	△13,478
現金及び現金同等物の期首残高	88,997	119,988
現金及び現金同等物の期末残高	101,928	106,510

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項なし

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの収益及び損益

前第3四半期連結累計期間(自 2015年4月1日 至 2015年12月31日)

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	209,008	206,334	415,342	—	415,342
セグメント間の売上収益	4,707	1,791	6,498	△6,498	—
合計	213,715	208,125	421,840	△6,498	415,342
セグメント損益	31,202	5,985	37,187	94	37,281
金融収益	—	—	—	—	872
金融費用	—	—	—	—	△1,661
持分法による投資損益	—	—	—	—	2,537
税引前四半期利益	—	—	—	—	39,029

(注) セグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

(単位:百万円)

項目	報告セグメント			調整額 (注)	合計
	機能材料	先端部品・ システム	計		
売上収益					
外部顧客への売上収益	205,072	195,787	400,859	—	400,859
セグメント間の売上収益	2,915	1,758	4,673	△4,673	—
合計	207,987	197,545	405,532	△4,673	400,859
セグメント損益	33,707	6,942	40,649	81	40,730
金融収益	—	—	—	—	732
金融費用	—	—	—	—	△2,271
持分法による投資損益	—	—	—	—	2,601
税引前四半期利益	—	—	—	—	41,792

(注) セグメント損益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。